



お月様



しやき

お月様

見上げると綺麗な月が出ていた。
懐かしくなり、君に伝えたくなった。
しかし、軽はずみ過ぎたのがいけなかったのか...
「月を見ると切なくなる」と。

その理由は聞かなくても分かる。気の利いた愛の言葉も言い返せなくて.....
ただしんみりした空間が生まれてしまった。

愛の形は月のようだった。
新月から生まれて満ちて行く
そしていつの間にか欠けて行ってしまった。
「ずっと満月のままだいいな。」と、君が呟いた。

君にロマンチックな言葉を言いたくて、口実に使っていた月も何故か寂しい思い出になってしまっていた。

ねえ、信じてもらえないかも知れないけど聞いて欲しい。
ずっと満月のままではいけないかもしれないけれど、時々欠けてしまうかもしれないけれど、必ず君が見たがっている欠けない満月を見せてあげる。
きっと満ち欠けの繰り返しの先に欠けない満月は出来るんだと思う。

僕らはまだ繰り返しの途中で
僕一人では欠けているから
だからまだ月にはうさぎが住んでるんだよ。
二人で欠けない満月を探しに行こう